



# あすなろ

登別市立幌別東小学校

学校だより

第10号

令和6年1月25日

## 雪がとけたら・・・

登別市立幌別東小学校長 猪子 雅司

新年になり、もう20日余りが過ぎました。遅くなりましたが明けましておめでとうございます。それと共に元日から能登地方を襲った大地震でつらい思いをされている方々に対し心よりお見舞い申し上げます。

報道される被災した方々の姿に、「大変だなあ」と共感し、「自分自身が被害にあったら」と想像し、「自分にできること」を実践する、そんな気持ちが大切であることを1月18日の始業式の際、子どもたちに話しました。

このことに直接関係するかは自信がありませんが、ヤクルトスワローズや阪神タイガースで監督を務めた野村克也氏は自著「ノムラの教え 弱者の戦略99の名言」の中で次のように述べています。

他人に対してどう考えられるかということも、一流と二流を分ける要素のひとつである。

他人の痛みを自分の痛みとして捉えられる、他人に対する配慮ができる。他人のために自分を犠牲にできる。こうしたことができる選手は、いち早く頭角を現すし、伸びる確率も高い。

上の言葉は、もちろんプロ野球選手に対してではありますが、「選手」を「人間」に置き換えても、野村さんが言わんとしていることに共感できるのではないのでしょうか。時代は進み、社会は変化してきているとは言いますが、上のような気持ちは変わらず大切にできる世の中であってほしいと私は思います。

さて、今回のタイトル「雪がとけたら・・・」は私の大学時代、教育実習に行った学校の校長先生からうかがった言葉です。このことについても、今回の始業式の際に子どもたちにお話ししましたのでご紹介します。

校長先生がお話ししてくれたのは次のような言葉でした。

雪がとけたらどうなる？と質問されたら、多くの子は水になると答えるでしょう。理科のテストであればそれが正しいけれど、「春になる」と答えた子を間違っているという教師にはならないでください。子どもは今までの経験や、今身に付けている知識で一生涯懸命な答えを見つけようとします。その中にはもちろん間違った答えもあるけれど、大人もびっくりするような真実

を言い表している答えもあるのです。一律に一つの正解以外を排除するのではなく、「いい答えだね」、「よく考えたね」と認められる、そんな心の余裕を常に持つ教師であってください。

とその校長先生はおっしゃっていました。

また、私たち教師に必要なのは堂々と「春になる」と答えられるような子どもや学級をつくっていくことなのですよ。

ともおっしゃっていました。

このことを最近ふと思い出し、今、さかんに用いられている言葉、「心理的安全性」につながるのかなと考えた次第です。心理的安全性とは自分の意見や考えを安心して表現できる状態とされています。そのためほかの人と異なる意見を言ったとしても、否定や拒絶をされないため、多様な意見が出てくるような集団が形成されます。

もちろん心理的安全性の高い集団を形成するためには自分の意見ばかりの安全性を求めるのではなく、他人の意見の安全性も保障することが大切になります。

そのような集団、子どもたちにとっては学校や学級で生活したり、学習したりすることは、学校が楽しいという気持ちにつながるでしょうし、自分も他人も大切に優しい心を育むことにもつながっていくはずです。

幌別東小学校も心理的安全性の高い場であることを目指しています。またそれに加え、私は子どもたち一人ひとりには、多面的に物事を見られる力、たくさんの答えを考えられる力を身に付けて、東小学校を巣立ってほしいとも願っています。そのためには、教師も子どもも一つの答えに凝り固まるのではなく、これも正解なのでは？という柔らかな頭と心を育てられる学校でなくてはなりません。

さて、これをご覧のみなさんは雪がとけたら・・・の答えをいくつ考えついたでしょう。「水になる、春になる、透きとおる、小さくなる、ぬるくなる・・・」などなど。このような正解が一つでないことについてじっくり考えて、家族で話題にしてみるのも豊かな時間を過ごす一つの方法ではないでしょうか。

## 3学期始業式

今年度のまとめの学期、3学期が1月18日（木）からスタートしました。

始業式の児童代表挨拶は4年生の金澤友哉君でした。冬休みのサッカーの試合中にどのように動いたら良かったか振り返ったことや、3学期は算数をがんばっていききたいというめあてを、しっかりとした声で堂々と発表することができました。

また、大谷選手からのグローブが届きました。始業式の後に、ピッチャーが6年生の菅野照太君、バッターとキャッチャーは本校職員が担当し始球式をして披露しました。

その後、子どもたちは教室にまわってきたグローブをはめてみて、とても嬉しそうにしていました。



## そり滑り

1月も終わりを迎え、だんだんと寒さも厳しくなってきました。先日、1・2年生の子どもたちが、中庭で元気よくそり滑りをしていました。その日の夕方からの雨で雪はとけてしまったのですが、雪の季節はまだまだこれからです。

また、元気な声の中庭にひびくことと  
思っています。



## 全国ダンス大会出場

12月26日（火）に全国リズムダンスふれあいコンクールがオンラインで行われ、本校の5年生と6年生の子どもたちが参加しました。

惜しくも入賞にはならなかったのですが、審査員からは「踊りにきれがあり、全体の調和や迫力が増していた。」と講評がありました。5・6年生の子どもたちの心が一つにまとまる良い機会となり、子どもたちの自信にもつながりました。

## 6年生卒業制作（陶芸）

1月23日（火）に、6年生の子どもたちが健千窯の方に卒業制作の陶芸を教えてくださいました。

子どもたちは自分で準備していたデザインをもとに皿やカップなどの制作に集中して取り組みました。

優しく丁寧に教えていただき、みんな楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。



## ☆2月行事予定☆

日	曜	給食	学校行事
1	木	○	職員会議（年度末反省②・3月行事） 新入生1日入学
2	金	○	避難訓練（地震・津波）
3	土		
4	日		
5	月	○	児童会⑩ 全校朝会 いじめアンケート週間（～9日まで）
6	火	○	スクールカウンセラー来校（6年生授業：思春期の心と体）
7	水	○	
8	木	○	PTA総務部会 10：30～13：30 図工室
9	金	○	
10	土		
11	日		建国記念の日
12	月		振替休業日
13	火	○	
14	水	△	スキー学習（5・6年生） 1・2・3・5・6年生・たんぼほ2組は弁当日。 4年生とたんぼほ1組は給食があります。
15	木	○	街頭指導・下校時巡回 安全点検
16	金	○	
17	土		
18	日		
19	月	○	3～6年6時間 スクールカウンセラー来校
20	火	○	参観日・学年レク1～4年、たんぼほ1・2組
21	水	○	
22	木	○	参観日・学年レク5・6年
23	金		天皇誕生日
24	土		
25	日		
26	月	○	児童会⑪（反省）
27	火	○	
28	水	△	たんぼほ1組、たんぼほ2組（4年生）は弁当日。 1～6年生・たんぼほ2組（6年生）は給食があります。
29	木	○	